

に對する闘争にすりかへた。このことは本平雇連動が
差別撤廃を商らかに叫びながら眞實は身分關係の根柢
となつてゐるブルジョア、地主的絶對主義を維持
する爲の愚策である。雇連動と、客觀的には同一
の立場に立つことを意味する。本平雇の「徹底的糾弾」
は、雇連動の間に身分的感情對立の溝を深めた。それ
は身分的偏見を利用して、雇連動の階級結合を妨害し
ようとする支配階級の分業政策に協力する事となる。
身分關係に反對する闘争は、雇連動の間に身分的差別
を取り除いて階級結合を促進するためには、戦はれての事
その意味があるのである。従来、本平雇はかかる見地
から差別に對する闘争を行はなかつた。

(一八) 以上はこゝに指摘せる如き欠陥と缺點のために、本平
雇連動は今日著しい退化を示し、雇連動階級大衆の闘

争を組織しそれを指導する力を著しく弱めてゐる。昔
*はこの事實を認めねばならぬ。だがこのことは決して
雇連動階級大衆の闘争が萎縮したことを意味するもの
ではない。否、それどころか、反對に雇連動階級大衆の
反抗は昂まつてゐる。昔々はその眞實を各地に惹起せ
る差別事件、改善要求運動等の闘争の激化に見ることが
出来る。

四、身分闘争を如何に戦ふべきか

身分闘争とは社會生活の凡ゆる領域において今日猶
ほ階級性を本質してゐる。階級的身分關係を法的に保
持せんとする階級大衆の反抗闘争である。従つてそれ
は身分關係の根柢であるブルジョア地主的絶對主義
を根柢とする闘争として發展する眞實な運動を持つて
ゐる。身分闘争をかくる高層を政治闘争に發展せしむ